

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	生活環境の改善と公共用水域の水質保全												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	所沢市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,715	A	1,715	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	下水道処理人口普及率を929% (H27) から約946% (H31) に増加させる。 下水道処理人口普及率(千分率) 下水道を使用できる人口(人) / 総人口(人)	929%	936%	946%
2	都市浸水対策達成率を570% (H27) から約572% (H31) に増加させる。 都市浸水対策達成率(千分率) 概ね1/5整備済面積(ha)1708.1ha / 計画区域面積(ha)2988.2ha	570%	570%	572%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H27	H28	H29	H30	H31					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
下水道事業	A07-001	下水道	一般	所沢市	直接	所沢市	管渠(汚水)	新設	幹線及び関連枝線整備事業	管渠L=4,480m、舗装	所沢市						428		-		
	A07-002	下水道	一般	所沢市	直接	所沢市	管渠(汚水)	新設	幹線及び関連枝線整備事業	管渠L=150m、舗装	所沢市						0		-		
	A07-003	下水道	一般	所沢市	直接	所沢市	管渠(汚水)	新設	幹線及び関連枝線整備事業	管渠L=1,390m、舗装	所沢市						157		-		
	A07-004	下水道	一般	所沢市	直接	所沢市	管渠(雨水)	新設	岩岡雨水1号幹線整備事業	管渠L=632m	所沢市						1,130		-		
											小計						1,715				
											合計						1,715				

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
所沢市公共事業評価委員会条例に基づき、公共事業の評価に関し知識・経験を有する者から構成される、所沢市公共事業評価委員会により事後評価を実施する。	令和3年1月（予定）
	公表の方法
	市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>1．未普及地区の污水管整備を行ったことにより、多くの市民の生活環境の改善と公共用水域の環境保全が図られた。社会資本整備総合交付金事業及び単独費（自主財源）事業による一体的な整備により、5年間で約6,000人の市民が、新たに下水道への接続が可能となったことから、市民の生活環境が改善されたものとする。また、市内の河川の水質もおおむね環境管理目標値以下（BOD75%値が5.0mg/L以下）であり、市民による水質浄化の取り組みや浄化槽設置の促進などと併せて、下水道整備も水質保全に貢献したと考える。</p> <p>2．雨水管整備を行ったことにより、浸水被害のリスクが軽減され、市民が安心できる暮らしの実現に大きく寄与した。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>事業内容について（污水）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A07-001、002、003の幹線及び関連枝線整備事業は、市の污水に係る5年間の整備事業である第3期市街化調整区域下水道整備事業に含まれる。当計画のA07-001、002の事業内容は計画値に比べて実施の延長、全体事業費が少なくなっているが、交付金事業を単独事業に振り替えて整備を行い、第3期市街化調整区域下水道整備事業全体としては、必要な整備は概ね完了している。 ・「A07-001幹線及び関連枝線整備事業」については、事業計画上4,480mであったが、社会資本整備総合交付金を用いて行った実績値は3,991.5mである。 ・「A07-002幹線及び関連枝線整備事業」については、事業計画上150mであったが、社会資本整備総合交付金を用いて行った実績値は0mである。 ・「A07-003幹線及び関連枝線整備事業」については、事業計画上1,390mであったが、社会資本整備総合交付金を用いて行った実績値は1,454mである。 <p>事業内容について（雨水）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「A07-004の岩岡雨水1号幹線整備事業」については、事業計画と社会資本整備総合交付金を用いて行った実績値に差異はない。 <p>今後の方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹線および関連枝線整備事業（未普及対策）は、生活環境の改善や河川等の水質保全を図るため、引き続き次期社会資本総合整備計画（令和2年度～令和6年度）において進める。 ・都市浸水対策は、降水量、地形、浸水被害箇所および放流先の状況を勘案し、適宜進める。 	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	下水道処理人口普及率(千分率)		
	最終目標値	946‰	幹線及び関連枝線整備事業は、市の汚水に係る5年間の整備計画である第3期市街化調整区域下水道整備事業に含まれており、第3期市街化調整区域下水道整備事業全体としては、当初の計画通り必要な整備は概ね完了している。しかしながら、下水道処理人口普及率を「下水道を利用できる人口/総人口」としていることから、平成26年時点の人口推計を用いて、目標値の設定を行ったが、実際の人口と差異が生じたことにより、目標値よりも若干低い数値となった。
	最終実績値	944‰	
2	都市浸水対策達成率(千分率)		
	最終目標値	572‰	
	最終実績値	572‰	